
舞い散らん星の花びら

高野楓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

舞い散らん星の花びら

【Nコード】

N9215D

【作者名】

高野楓

【あらすじ】

謎の魔術師・ダルグはローシャナ王国とレトールナル共和国の戦争を食い止めるため、相棒のニャーラとローシャナ王国の姫・フロリーナと一緒に戦争の裏話を突き止めるアラブファンタジー小説。

序章

序章

黄金の様な砂漠は、夜の満月の神秘的な輝きで昼間とは違う輝きを放ち風と一緒に流れる。砂漠の砂が舞い終わるのを見計ってか、1頭のラクダの背中に乗った黒いベールに身を包んだ男が広い砂漠の海を渡っていた。男はそのままラクダを連れて行くと、その先にはオアシスが潜んでいた。男は迷わずオアシスの中に入り、いつでも出発する様にラクダを側の木の枝で軽く紐を縛り大人しくさせる。そして男は左手を自分の前に出すと、不思議な光りの中からを出し手に取り、ガラスに息を吹きかけるとポツと火が点火し自分の周りを照らしてくれる。そして男は、一本道をランタンと一緒に闇の中へ溶けて消えた。

「

」

さわさわと、緑が小さく揺れる。そして、闇を結うには似合わない小さな澄んだ音……否。声が聞こえる。それは、小鳥の歌声の様な可憐で美しい声。その声のリズムを取るように小さな淡いエメラルドの色がポツリ、ポツリと灯る。消えたり、光ったり。その繰り返しを続ける。そして男は、ピタリと立ち止まる。

「……美しい歓迎ありがとうございます。我が君」

低い。テノールよりも低い声が、優しい声で謝礼の言葉を発す。その声に答えるかのように、ざわざわと風が揺れる。そして男の姿を覆っていたベールが風と一緒に飛んでいく。

闇に薄く浮かぶ白い肌。美しく整った顔は女にも見え、男にも見える。綺麗に揃っている肩まで長い黒髪は風で優雅に靡き美しさを際立たせる。そして、瞳は闇色よりも深い色を表していた。

『ダルグよ……我が信頼出来る従者よ　そなたを待っていたぞ』
「恐れ入ります。我が君よ」

風と一緒にあって発せられた声は、とても美しく水晶を透き通るような、あたかも女神の様な優しさを持つ声が、美男のダルグという男に送られる。我が君と呼ばれるその声の主は姿を明かさず、声だけを風と一緒に運ばせて話を始める。

『ダルグよ　今、この世は血で穢れている。やがて、無益の血がこの砂漠とオアシスを真つ赤な血の池の如く染まるに違いない』

「仰る通りでございます。　現在ローシャナ王国と大国のレトーナ共和国が先月戦の真つ最中でございます。大国と違いローシャナ王国は小国。ローシャナに侵入しては残虐や虐待という行為を、無関係なローシャナ国民に被害を受け、1週間でローシャナ王国の人口の半分が亡くなっています」

ダルグは、闇色よりも深い色を悲しい色に染め、眉間に皺を寄せて語り始める。我が君の声は、まだ発せられない。

「当然。ローシャナ王国には戦う術は残されていません。昔　ロー

シヤナ王国は金、銀、銅と言った鉱物を発掘し、それぞれを各国の国々に輸入し世界の金融の手助けをする歴史があります。その為世界はローシヤナに戦をすることは一切なく、ローシヤナもまた戦という事をしないと宣言し今日まで平和を保ちました。．．．．．されど、戦が始まる１ヶ月前。大国のレトーナル共和国で事件が起こりました。それは、レトーナル共和国の金貨の全てが偽物という事が発覚したのです。レトーナルはローシヤナに大激怒し、それを訴えましたがローシヤナは否定しています。何故ならローシヤナから掘り出される金、銀、銅の鉱物の点検はとも手厳しく、輸入前、その各国の専門家も手厚く点検して自国に持ち帰り金貨として金融の平穩を保っていました。私の予測では、誰かが裏を斯いている様にしか思えません」

『．．．．．ダルグよ。そなたがその様に思うならば、その原因を探りなさい。お前の手で、無益な血の流れを食い止めるのです』
「御意」

ダルグは膝を地に付き風と流れる声に一礼をする。ランタンの火は揺ら揺らと震え、やがて消える。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9215d/>

舞い散らん星の花びら

2010年10月28日08時16分発行